

令和6年度廿日市市学力定着状況調査の結果より

廿日市市立廿日市小学校

<第1学年>

	本校	全国	60%未満
国語	82.0	74.0	12
算数	89.7	81.1	1

<課題と取組>

- 国語科では、話を聞いて答える問題に課題があった。普段の生活の中で視覚的情報を与えず聞かせた話について、なぞなぞや問題を答えるという経験をさせる。
- 算数科では、基本的な計算問題のうち、3つの数の計算に課題があった。普段の家庭学習で取り組んでいる計算カードに加え、隙間時間にプリントやドリルプラネット等で習熟を図る。

<第2学年>

	本校	全国	60%未満
国語	82.1	75.9	10
算数	79.9	69.1	15

<課題と取組>

- 国語科の聞く力については、週一程度、朝の時間にリスニング問題に取り組む(コグトレオンライン)。漢字については、宿題で既習の漢字を復習する。情報の収集と理解については、話を聞いて感想や質問を交流させる機会を作る。自分の考えを持たせる。
- 算数科の計算の定義の説明については、計算の仕方や意味を文章で説明する問題に取り組ませる。問題に慣れるように、何回も取り組ませる。長さの計算や不等号の問題については、文章問題に取り組ませる。

<第3学年>

	本校	全国	60%未満
国語	72.1	62.3	25
算数	82.3	70.9	10

<課題と取組>

- 国語科では、言葉や漢字など基礎的な知識の定着や文章の中からキーワードを抜き出すことに課題があった。語彙力を上げるために、熟語集めをする。既習の漢字を繰り返し書かせる。情報の活用に課題があるため、授業の中で複数の情報を比較したり、文中からキーワードを抜き出したりする活動を取り入れる。
- 算数科では、大きい数の概念の理解や基礎的な計算などの身につけていることを使って、図や式と関連付けて説明することに課題があった。大きい数はお金などを使って実生活に結び付けたり、具体物を操作させたりして理解させる。式の意味を口頭で説明させるだけでなく、説明を文章に書く活動を取り入れる。

<第4学年>

	本校	全国	60%未満
国語	76.3	69.9	11
算数	83.9	68.0	7

<課題と取組>

- 国語科の漢字については、前学年までの漢字の復習をさせる。ただ繰り返し書かせるのではなく、「部首集めゲーム」や「同じ音読みの漢字集めゲーム」など遊び感覚で漢字に関心をもたせる活動を仕組む。言葉については、朝の時間や授業の隙間時間を活用して、ワークシートをさせたりグループで調べ学習をしたりする。
- 算数科では、正しい量感を身に付けさせるために、繰り返し問題を解かせたり、実物に触れる機会を設けたりする。また、図形の特徴を正しく覚えられるように言葉で表現させる。

<第5学年>

	本校	全国	60%未満
国語	78.4	71.9	14
算数	72.0	62.2	25

<課題と取組>

- 国語科では、修飾語の意味の理解、資料から読み取れることを条件に合わせて書くことに課題があった。5年生が修了するまでに、「分かること」と「考えたこと」を整理する時間や、字数や指定のキーワードを条件に組み込んで書く時間を設ける。
- 算数科では、小数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題で、図と式を関連付けて答えることや、必要な情報を取り出して、言葉や式を使って理由を説明する記述の問題に課題があった。文章問題においては、正しく題意を捉えていないことが要因であると考えられる。このことから、式を図に表したり、式や図の意味を考えたりする活動を増やす。また、題意を捉えさせるために、問題文の必要な部分に印を付けることを習慣化させるようにする。

<第6学年>

	本校	全国	60%未満
国語	77.1	69.9	14
算数	69.9	67.3	27

<課題と取組>

- 国語科では、叙述を基に内容を捉えること、情報と情報との関係を理解して目的に応じて文章にまとめることに課題があった。複数の資料を関係付けて多角的に読み取る経験を積ませる。また、大事な部分に線を引いたり、情報を図や表に整理したりすることで、文章の要点を整理できるようにしていく。
- 算数科では、変化と関係（比と比の値）についての理解に課題があった。比や比の値が何を意味するのかという基礎知識を定着させるとともに、実際に体験したり視覚的に図やグラフを活用して問題に取り組みさせる。また、身の回りにある比を見つける活動を取り入れることで実生活とつなげる。